

平成27年度農業後継者特別支援事業

事業主体名 日置地区農業青年クラブ連絡協議会

1 目的

日置地区は都市近郊地域で多品目の農産物が生産されているが、農業地帯のように地域を象徴するような農産物の印象が少ない地域である。そこで、日置地区農業青年クラブでは、県農業青年クラブ60周年記念事業イベントの販売会において、地域の資源を活かした農産物加工品の商品開発を行い販売することにより、地域のPRを行い地域の活性化を図るとともに、クラブ員の6次産業化への取り組みの学習機会とすることにより、今後、地域商工会議所等との連携を図り、農産物の販売戦略や新たな商品開発の検討を行う。

2 実施状況

(1) 加工研修会の実施

農産物の加工品作りの概要を研修するとともに、販売のためにパッケージデザインの考え方の研修会を開催した。

研修会では、加工品を製造する目的によってパッケージデザインや販売戦略も変わってくるため、「何のために」加工品を製造するのか目的を明確にしてから取り組むことが重要であることを学んだ。



農産物の加工デザイン研修

(2) 加工品の販売会の実施

地域農産物を活用した商品として、酪農、果樹農家の原材料を活用してジェラートを製作した。

販売は、12月12日に天文館ベルク広場で開催された県農業青年クラブ60周年直売会で行った。

販売したジェラートは、ミルク、マンゴー、不知火の3種類で、時期的に販売量は少なかったが、原料にこだわり製造したことから、商品を購入したお客様からは「味が濃くておいしい」と好評であった。



販売した3種類のジェラート

3 今後の課題、取り組み

6次産業化の取り組みとして、地域農産物を活用したジェラートを製作、販売したが、製造委託先や副材料の調達や味の調整などの課題も多かった。

また、原料にこだわったため製造原価が高く利益率が低いことも課題である。

今後は、販売先や販売価格、製造原価コストの低減、新たな商品開発などの検討を行っていく計画である。



県農業青年クラブ60周年直売会での販売